

令和 7 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 1 日

団体所在地 広島県福山市神辺町西中条 2181
団体の名称 社会福祉法人光耀福祉会
職・氏名 理事長 足利義信
(施設名 かやのみこども園)

1 活動報告

【4 月～6 月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・お花見(桜の木の下で)
- ・春を探しに
- ・かしわ餅の葉っぱを探しに
- ・染め物あそび(よもぎ・桜の枝や葉)
- ・山歩き
- ・たけのこ堀り
- ・野菜作り

【7 月～9 月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・水あそび
- ・プールあそび
- ・染め物あそび(自然物で)
- ・泥団子作り
- ・野菜の収穫
- ・魔女に会いに

【10 月～12 月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・秋を探しに
- ・落ち葉・木の実拾い
- ・魔女に会いに
- ・ネイチャーゲーム
- ・山登り
- ・焼き芋大会

【1 月～3 月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・山登り
- ・卒園登山
- ・タイムカプセルを埋めに山へ
- ・春の予感

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】(春季)

写真)



(エピソード記述)

- * 入園してすぐに桜の木の下で花を愛でながらお弁当を食べます。温暖化のせいか桜が早く咲いてしまうので、新学期早々のお花見になってしまいます。
- * たけのこ堀は子どもたちの毎年の楽しみとなっています。堀ったたけのこは、散歩で摘んだわらびと一緒に炊いて食べます。剥いた皮で遊んだり、絵を描いたり、絵を描いたあとはスタンプあそびに使ったりして、最後まで使い切ります。命のありがたさを伝える機会となります。
- * 昨年度は年長児に1つずつ万華鏡を持たせて、季節の草花、石、実などを入れ替えて、自分だけの不思議な世界を楽しみました。友だちにも見せてあげたい気持ちがあり見せあっこをする姿も見られた。
- * 裏山の上下り下りでしっかりと全身の筋力を鍛えています。山遊びには虫や危険が伴うことも多いので、危機管理の力が少しでも意識できるような声掛けをしています。長袖、長ズボンを履いて出かけ、マダニなどの確認も兼ねてブラシで払ってから園内に入るようにしています。

【7月～9月】



(エピソード記述)

- * 5月ごろに植えた夏野菜の生長を観察し、収穫を楽しむ。収穫した野菜は、昼食にお汁の具にしたり、茹でて食べています。
- * 雨上がりの園庭はとにかく魅力的で、すぐにでも出ていきたい気持ちになります。外に出ていくと、まずは水たまりです。いろいろな発見があるようです。
- * 春に収穫し冷凍しておいた桑の実でフィンガーペインティングを楽しんでいる子どもたちです。障子紙に色を付けて制作物に利用したり、いろいろな形で色遊びを楽しみます。
- * プールや水遊びもしっかりと満喫しています。設計図を描いて筏づくりにも挑戦しています。できた筏に乗って、グループで競うことも楽しみました。
- * 大きくなりすぎた草花を刈り取ったもので、素敵な洋服を作ってみました。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

- * 芋ほりをして数を数えたり、大きさ別に分けたりしながら文字や数にも親しんでいきます。
- * 五感を育てる1つに焚火を体験することも大切だと思っています。煙たい、熱い、危険など実体験を通して知っていきます。寝かしていたお芋やみかんを焼いて、焼くと甘みが増すなどの微妙な変化にも気づける声がけをしています。
- * 山遊びの中で見つけた木の実や色づいた葉っぱに興味を持ち、興味をもって観察します。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

- * 卒園式を控えた年長児たちは、3学期、何度も山へ登ります。心も身体も大きくしてくれた裏山は宝物です。親しんだ山で、メスティンを使ってご飯を炊いて昼食を食べました。みんながみんな、うまく炊けないことも知っていきます。何が足りなかったのかも考えながら、友だちから分けてもらって食べました。「おいしい！」と心とお腹が満たされた1日でした。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）
- ・園の中でできるSDGsに積極的に取り組んでいきたい。
- ・一人ひとりの職員が原体験から得られる豊かさを感じていく。

- ・ 地域との関わりについて
（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）
- ・気になることや専門性を要するときには、気軽に尋ねられる関係性を日頃から築いておく。

- ・ 保護者との関わりについて
（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）
- ・子どもが経験していること、楽しんでいることなどを言葉だけでなく、視覚からも理解していただけるように伝え、親子の会話が広がり、一緒に楽しんで頂けるように啓発していく。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--